

# 英才教育でも始める？

行政組織条例改正案

12月定例会に行政組織条例の改正案が提出されました。基本的に執行部が事務を執行しやすいように編成すべきだと考えますので、枠組みに関しては反対ではありません。

しかし、これまでの市の対応を見る限り、医療に関しては市立病院を中核とする「地域医療」という視点での事務執行が感じられません。分掌事務に関して「地域医療」をせめて規則に規定すべきと考えます。

また、これは教育委員会規則で定めることになり、議決の対象外ですが、児童福祉に係る分掌を教育委員会に移行させたあとの部の名称が「教育振興部」になるのはいただけません。福祉の観点からのケアが抜け落ちてしまいそうで、ここは今後しっかり「監視」していかなければいけないと感じています。

# 仕事に誇りがもてるように…

昨年末に異物混入事件が発生した学校給食は、施設改修と監視体制の強化のうえ1月12日から再開されましたが、5日の教育委員会臨時会において、教育委員からは、職場におけるよりよい人間関係の構築とおいしい給食を提供しているという職員の意志こそが重要。face to faceで調理員と子どもたちが交流できるよう、今後の給食のありかたの再考を求めるとのご意見がありました。首肯できるものです。



## 「まっすぐ、が通る生駒に！」

# しおみ 塩見まきこ

### 市議会ニュースレター



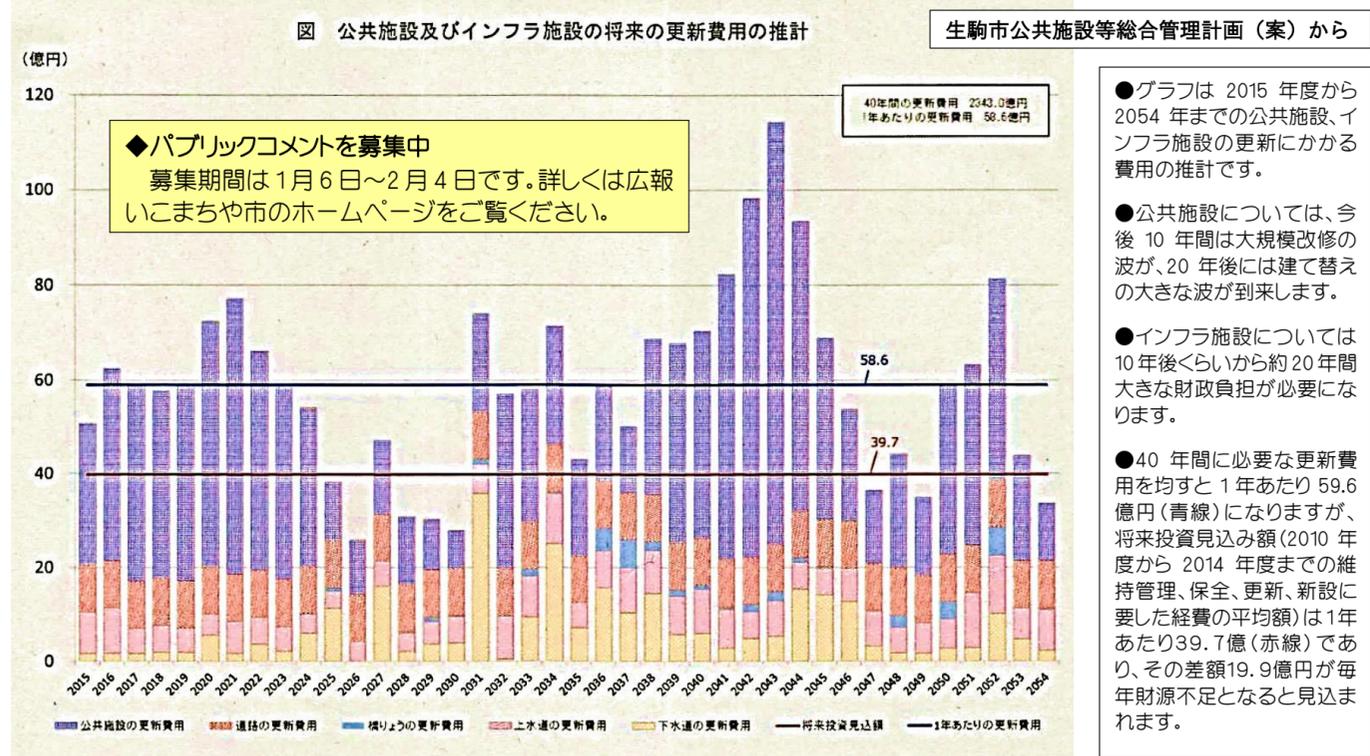
2016年冬号

発行責任者：塩見牧子 〒630-0213 生駒市東生駒1-215-402 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shioimi753@yahoo.co.jp

# 今後40年間の財源不足は755億円！

## 公共施設、インフラ施設の更新費用

平成26年4月に国から策定を要請されていた「生駒市公共施設等総合管理計画」のパブリックコメント案が12月定例会の企画総務委員会で示され、今後40年間で公共施設、インフラ施設（道路・橋梁・上下水道）合わせて約2,343億円の更新費用がかかるのに対して約755.1億円の財源不足が生じることが明らかになりました。



# 塩見まきこの東奔西走南船北馬

活動の一部です。詳細は「塩見まきこの活動日記」(ブログ)をご覧ください。



10/9 市民と議員の条例づくり交流会 運営会議@半蔵門  
10/10 予算修正の勉強会@朝霞市 昨夏敦賀市で開催し好評だった予算修正の議員有志の勉強会で講師を務めました。



10/11 高山竹あかりのゆうべ@高山町 水ろうそくに照らされた竹のオブジェは毎年変わるので、毎年ちがった楽しみ方ができるお勧めイベントです。



10/20～21 企画総務委員会視察@相模原市、藤沢市 「行政情報の公開と活用促進について」の調査のため、情報公開制度の運用やオープンデータの取組先進地に。



10/31 市民と議員の条例づくり交流会 in 九州@福岡市 「議会改革」後のこれからの議会審議のありかたを、市民と議員が「討議」を通して考えました。



11/6 日本経営協会セミナー@大阪市 全国保険者機能評価機構 永翁幸生氏による社会保障制度の講義。  
11/16 公認会計士協会近畿会研修会@大阪市 関西学院大学石原俊彦教授による公共施設等総合管理計画の策定を巡る諸問題の講義



11/18 「地方自治学習会」視察@半田市 官民協働まちづくりのアプリ「マイレポはんだ」の取組と運用、課題について、事業を手がけた担当者からご説明いただきました。



11/21 東海自治体学会講演会「エリアマネジメントを考える」@二見浦 浦日館内海麻利駒澤大学教授によるご講演とNPO法人伊勢河崎まちづくり衆の高橋徹氏による事例報告。



11/26 京都政策センターセミナー@京都市立大学 本川祐治郎氷見市長、静岡県立大学国保祥子氏による地域課題解決の場フューチャーセンターについてのご講演。



11/28 「性的マイノリティについての全国調査意識と政策」報告会@日比谷 国立社会保障・人口問題研究所会議室  
11/29 朝霞市議会議員選挙で友人の応援に。

サロン だ しおみ

## 茶論・de・403

茶論・de・403は、どなたでもご参加いただける生駒市政に関する情報や意見交換の場です。

日時：2月11日(木・祝) 13:30～16:00

場所：コミュニティセンター (セイセイビル) 401 会議室

参加費：無料

- 12月定例会のご報告
- 市政に関すること、なんでもお聞かせください。

最後までニュースレターをお読みいただきありがとうございました。

昨年は、多くの法学者によって違憲と指摘されるのもお構いなく集団的自衛権の行使を可能とする安保法制改正法案が国会で強行採決され、今年はいよいよ国民の自由と権利を奪おうとする改憲が現実味を帯びてきました。それぞれの自治体がいかに施策を展開しても、国がかたちを変えてしまえば子どもたちを守ることはできません。立憲主義と民主主義を捨てようとする勢力に対して立ち向かっていきたいと思ひます。

塩見牧子 

塩見まきこの議会活動情報はこちらから。 [塩見まきこ](#) [検索](#)

生駒市議会議員 塩見まきこ公式サイト [shiomimakiko.com/](http://shiomimakiko.com/)  
塩見まきこの活動日記(ブログ) [katudo403.exblog.jp/](http://katudo403.exblog.jp/)

フェイスブック、ツイッターもやっています。  

### \*財源不足にどう対応する？

「総合管理計画」では、財源不足に対して①長寿命化の推進、②公共施設等の適正配置、③PPP\*1やPFI\*1などの民間活力の導入を基本方針として定めるとのことです。

しかし、計画では長寿命化の推進による更新費用の縮減効果に修繕コストが含まれていなかったり、今後10年間に公共施設の建替えが必要な施設はわずかであるとして総資産量の縮減に向けての取組がみられなかったりします。

公共施設の適正配置で最も大変なのは住民のナットクを引き出すことです。(施設の統廃合、機能移転には賛成でも、自分の地域から施設がなくなることには反対という「総論賛成各論反対」の事例が全国あまた見られます。)そのためにも、施設の種別ごとの利用需要予測から適正な施設の種類の数を割り出し、早い段階からそれらを市民に示して議論の場をつくり、来るべき時の「備え」をしておくことが必要と考えます。

また民間活力の導入もさることながら、周辺、広域自治体とのnew PPP(官官連携 Public Public Partnership)による施設の共同運用も検討すべきと考えます。

\*1 PPP(Public Private Partnership) 民間資本や民間のノウハウを利用し効率化や公共サービスの向上を図る手法。  
\*2 PFI(Private Finance Initiative) 公共施設等の建設、維持管理、陰影等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用し効率化やサービス向上を図る手法

塩見牧子(しおみまきこ) 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月から生駒市議会議員。(現在3期目) 将来世代にツケを残さないサステナブル(持続可能)なまちづくりと、市民の声を政策に転換できる議会の形成を目指しています。